

## 一瞬にして大やけど・・・「着衣着火」にご注意を！

調理中のコンロの火や、仏壇のろうそくの火などが着ている衣服に着火し燃え上がる現象を「着衣着火」と言います。毎年、全国で約100人の方が「着衣着火」により命を落としています。

火を扱うときは、着衣に着火しないように心がけるとともに、着火した場合の対処法を確認し、火災を未然に防ぎましょう。

### 着衣着火を防ぐポイント

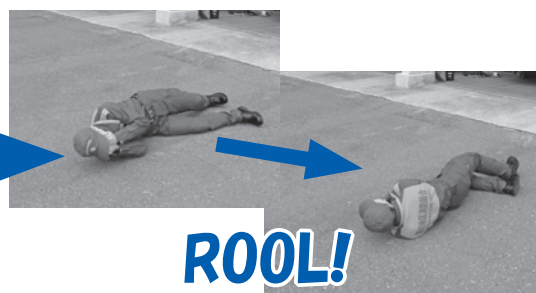


### 着衣着火してしまった場合の対処法

着衣着火した場合、手で消すことは困難です。衣服を脱げる場合には**素早く脱ぎ**、難しければ水道の水、浴槽の水、飲料水など**近くにある水を火にかけて下さい**。救急車を呼ぶ必要がある場合はすぐに119番通報して、**到着するまで冷やし続けて下さい**。

近くに水がない場合は、こんな消火方法も・・・

「ストップ！ドロップ！ロール！（止まって、倒れて、転がって）」



- ①慌てて走るとさらに燃え広がるため、動かない
- ②地面に倒れこみ燃えているところを地面に押し付ける
- ③左右に転がり、着火している部分を窒息消火する。転がる時は両手で顔を覆うようにすることで、顔への火傷を防ぐことができます

沼田町  
防火標語

住宅用火災警報器は10年を目安に点検・交換しましょう。

『声かけよう みんなで確認 防火の輪』

